

事業報告書

令和6年度

令和6年4月1日～令和7年3月31日

株式会社ソレイユの樹
サン・ベビールーム

1. 事業報告

児童の状況として、令和6年度は4月に0歳児5名、1歳児4名、5月に0歳児1名、2歳児1名の入園により定員を満たした後、2歳児クラスにおいて、転居と認可外保育施設からの転入があったが7月以降、出産による休園児はいたが転出入がない落ち着いたクラス運営となった。令和6年度に引き続き、育児休業中や求職中のご家庭には9時～16時の保育の利用にご協力を頂いた。

職員の状況として、4月に保育士2名、栄養士1名が入社した。退職者はおらず、3月には常勤職員の保育補助者および非常勤職員の看護師が共に保育士資格を取得した。小学生以下の子育て中の正規職員4名中、時短固定勤務2名が日中の保育を支えている他、午後からベテラン職員がノンコンタクトタイムのフォローや夕方保育を支えている。

在園のご家庭に対するおさがりマーケットを地域の子育て世帯にも呼び掛けてご来園いただいた他、中学生の職場体験、小学生の育児体験、高校生ボランティアの受け入れを実施した。

会計については、比較的安定した在園児童数であったこと、また、処遇改善Ⅰの加算率が向上したこと、東京都・社会福祉施設等への非常用電源等の整備促進事業、労働基準局実施の業務改善助成金およびキャリアアップ助成金などにより収入が増額した。

運営面としては、令和4年度から取り組んできたTOKYO働きやすい福祉の職場宣言事業に申請し、宣言に至った他、子ども家庭庁による「令和6年度 子ども・子育て支援等推進調査研究事業」にて三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に委託した「保育人材確保にむけた効果的な取組手法等に関する調査研究」において、園の取り組みが取り上げられることとなり、園長と職員がヒアリングを受け、当該事業で作成する事例集に掲載されることとなった。保育所一般指導検査では、会計経理について法人本部と園としての会計分別が不明瞭であることへの文書指摘、運営管理においては雇入れ時健診の項目に不備があるとして口頭指摘事項があったが、保育内容については助言指導のみにとどまった。

2. 保育内容

引き続き、保育者の在宅ワークやノンコンタクトタイムをシフトに組み入れることで、自宅や職員室など保育から離れた場での教材準備や保育計画検討を行う時間を確保した。

保育計画についてはクラス単位による年間、月間、週日案を作成し、各種会議においてその経過観察と必要に応じた補正や調整を行い、クラスや園の実情にあった保育活動を計画的に実施した。事故が起こりやすい場面や気になる様子の児童に関しては、全体MTにおいて現状の報告を受け、全員で保育の評価・反省・展開について話し合った。尚、保育者の事務仕事軽減を図るため、各種書類の書式の見直しを行った。

避難訓練は、保育の中で避難行動を伝えた後に実地訓練を行うなどした。

事故については11月に粉ミルクの分量を取り違えたミルクの誤飲事故が生じた。園児自身の動きや園児同士のトラブルによる受傷事故については、安全係を中心に発生しやすい状況を把握し、対応を行った他、保育者によるヒヤリハットやかみつ・ひっかき・その他報告書により統計を取り、修繕を加えるなどした。

0歳児クラスは4月中旬に1歳を迎える児3名と8月および12～1月に1歳を迎える

児3名であった。登園が早くお迎えが遅くなる児が1名の他、比較的短時間の保育である児や日によって送迎の時刻が早くなったり遅くなったりするフレキシブルな保育の児もいた。カウプ指数が高めの児もいたが、アレルギー児がおらず、ご家庭の協力もあって離乳食から普通食へと段階を踏んで食に関する発達が進んだ。

1歳児クラスは継続児童6名と新入園児童4名が入れ替りなく過ごした。配慮を要する児童2名は、発達の様子や安全面を考慮し入園から2ヶ月は0歳児室で過ごし、1歳児クラスに合流した後も順調かつ穏やかに園生活を送った。また、アレルギー児1名は年度の途中で除去解除となった。散歩には2組に分かれて出発したり帰園したりするなど、個々の体力や体調、食欲や午睡のバランスを調整して過ごすことができた。

2歳児クラスはアレルギー児の他、妹や弟が生まれるなどした影響からか登園時の親子分離時や給食の際に若干の配慮を要する時期が生じた児もいたが、ご家庭の協力と児自身の力により、年明け以降、登園時に困難を生じる児やその機会は格段に減少した。また、お当番活動や子ども同士だけの手つなぎ歩行をはじめとした集団での活動やお友だちとの関わりを通じた発達促進を行った。一年を通してお散歩前に「どこに行くか・行きたいか」「何をするか・何をしたいか」を担当と児たちとで話し合うことにより思いを発言し、思いを調整し合う機会を設けた。春のどろんこ遊び、夏のプール活動、ハロウィン散歩、消防署見学、買い物体験、栽培活動やクッキング活動、世田谷線に乗車して出掛けた遠足など、日々、様々な経験を重ねる一年となった。

1・2歳児に関しては、夕方の合同保育前に、希望する児は隣のクラスで生活する機会を設けたことで、合同後も落ち着いて遊んでいた。

3. 保育活動

(1) 保育園の運営

- ・所在地：東京都世田谷区三軒茶屋二丁目5番5号 クレール三軒茶屋1-2階
- ・児童定員：26名、0歳児…6名、1歳児…10名、2歳児…10名

(2) 開所時間

- ・11時間開所保育時間：午前7時15分から午後6時15分
- ・延長保育時間：午後6時16分から午後7時15分（月～土）

(3) 閉所日

- ・日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）
- ・休園措置および応急保育の実施なし

(4) 職員配置（令和7年3月1日現在）

- ・常勤職員：17名：
園長(1) 主任保育士(1) 保育士(10) 子育て支援員(1) 看護師(1)
栄養士(2) 調理師(1)
- ・非常勤職員：8名：
保育士(3) 子育て支援員(1) 保育補助(2) 看護師(1) 事務補助(1)
- ・嘱託医：1名

(5) 延長保育実利用児童数実績

4月：12人、5月：9人、6月：17人、7月：10人、8月：8人、9月：11人、
10月：24人、11月：16人、12月：9人、1月：17人、2月：24人、3月：17人
合計：174人

4. 保護者支援

(1) 日常における支援

和やかな日常的のやり取りにより、信頼関係を築くことに繋がった。毎月1回『えんだより』『ほけんだより』『食育（給食）だより』を発行した他、世田谷区からの周知事項をメールで配信した。

(2) 緊急時等連絡

園としてのメールアドレスを保護者に周知し、保育中の受傷時の連絡や配布物のデータを送信する他、早朝や夜間、休日のご家庭からの連絡を受け取った。

(3) 保護者面談・保育参観

秋の保護者交流会に合わせて保護者に面談の希望を募り実施する他、支援係によるおさがりマーケットを実施した。保育参観と同時に保育参加も提案し、ご家庭に日々の保育活動について理解を得る機会とした。

(4) 外部機関との連携

発達や育児に関する気掛かり等から専門的な支援が必要な可能性のあるお子さんやご家庭に対して日常のやり取りや面談を通して、健診やかかりつけ医への受診の機会に相談を提案した他、児童相談所、子ども家庭支援センターからの問い合わせに対応するなどした。

(5) 地域支援活動

散歩先の公園などでご一緒する地域のご家庭や他の保育園の方々と、地域で共に子育てをしている意識を共有できるよう、挨拶運動を実施した。また、おさがりマーケットの案内を地域の掲示板に貼付することで、在園ではない保護者の来園に繋がった。

(6) その他

保護者からのご意見やご要望については、都度、世田谷区保育育成支援担当の助言を受けながら対応した。世田谷地域で発生した保育士による虐待案件の報道もあったが、園内の死角除去カメラの活用などを紹介するなど、安心感が得られるように努めた。

5. 保健衛生

- ・ 0歳児定期健康診断：毎月1回
- ・ 1-2歳児定期健康診断：年2回（6月・11月）
- ・ 全園児定期歯科検診：1回（6月）
- ・ 園児身体測定：毎月1回

- ・調理および調乳担当職員腸内細菌検査：毎月1回
- ・職員健康診断：1回（4～5月）
- ・職員インフルエンザ予防接種：1回（11～12月）
- ・ほけんだよりの発行：月1回
- ・他、感染症拡大防止対策職員への各種研修、園児への手洗い、鼻かみ、うがい指導実施等

6. 防災安全

- ・避難訓練 および消火訓練：毎月1回
- ・引き取り訓練：年2回（4月・11月）
- ・通報訓練：1回（2月）
- ・防災設備等の保守点検、消防署への協力および報告、自主点検、法定点検
- ・非常用飲料水や食糧の確保および点検と喫食
- ・（その他）配膳室の火災報知器が湯気により誤作動した際に消防隊員が駆けつけ状況確認

7. 給食・食育

- ・0～2歳児：午前牛乳、昼食、午後おやつ
- ・延長児：補食
- ・アレルギー児への代替・除去対応
- ・食育活動：行事食、2歳児によるオクラとなすの栽培、野菜の下ごしらえ、クッキング体験等
- ・給食だよりの発行：月1回

8. 年間行事

5～7月どろんこ遊び、7～9月水遊び、10月ハロウィン、12月クリスマス会、2月節分豆まき、3月遠足、お別れ会、他、おさがりマーケット、保育参観・保育参加等

9. 年間実施および参加会議・会合等

- ・全体ミーティング：月1回：全常勤職員参加（集合とZoomのハイブリッド開催）
- ・クラス会議：各クラスにて適宜
- ・係（リーダー）会議：各係、主任にて適宜
- ・世田谷区私立園長会、世田谷ネット、結の会 元園長会、結の会 結っこ、他

10. 職員育成

- ・園内研修（毎月1回以上）
- ・東京都キャリアアップ研修
- ・世田谷区乳幼児教育支援センター研修
- ・世田谷区保育課保健研修

- ・ 世田谷区新任園長研修
- ・ 自己評価とフィードバック面談等

11. 職員福利厚生

- ・ 独立行政法人 勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済加入
- ・ 世田谷区保育士等処遇改善費の支給
- ・ 世田谷区保育士等宿舍借上げ支援事業
- ・ 公益財団法人 世田谷区産業振興公社ハラスメント相談サービス契約
- ・ ホットヨガスタジオ CALDO 法人契約（2025/8/31 まで）
- ・ 公益財団法人世田谷区産業振興公社 セラ・サービス加入
- ・ 有休消化率（園長を除く、少数第一位四捨五入）
 - 常勤のみ 付与日数 208 日、消化日数 215.57 日、103.6%
 - 非常勤含む 付与日数 271 日、消化日数 292.57 日、107.9%

12. 施設整備

- ・ 災害時食料・飲料の入れ替え、非常用電源の確保等
- ・ フックや棚、落下防止棒の取り付け他、軽微な修繕
- ・ 園舎の定期清掃および美化
- ・ 隣地倉庫の活用
- ・ 死角除去カメラ、ミラー設置
- ・ プライベートゾーン教育に係る幼児トイレパネルの設置（年度内予定・発注済み）

13. 資金収支「令和 6 年度活動計算書」

別紙参照

令和6年度 活動計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

株式会社 ソレイユの樹

(単位:円)

科	目	金 額	小計・合計
【A】 経 常 収 益			
1 受取会費			0
正会員受取会費	0		
賛助会員受取会費	0		
2 受取寄附金			0
受取寄附金	0		
施設等受入評価益	0		
3 受取助成金等			0
受取補助金			
4 事業収益			158,579,240
保育事業収入	157,943,240		
保護者負担金収入	636,000		
5 その他の収益			9,279,049
受取利息	34,537		
受取配当金	0		
雑収入	9,244,512		
経 常 収 益 計			167,858,289
【B】 経 常 費 用			
1 事業費			
(1) 人件費			98,948,544
給料手当	74,666,513		
賞与	10,581,427		
退職給付費用	0		
法定福利費	10,577,256		
福利厚生費	3,123,348		
派遣人件費	0		
(2) その他経費			45,859,946
給食材料費	1,657,785		
保育材料費	544,101		
児童処遇雑費	2,362,965		
保育水道光熱費	1,145,463		
施設機能強化費	154,285		
荷造運賃	15,400		
広告宣伝費	127,211		
人材紹介手数料	0		
接待交際費	255,026		
会議費	60,897		
旅費交通費	213,162		
車両費	77,115		
通信費	190,671		
消耗品費	971,897		
事務用品費	1,371,874		
修繕費	314,483		
水道光熱費	323,833		
図書教育費	6,270		
諸会費	34,650		
支払手数料	600,098		
衛生管理費	183,181		
研修費	68,146		
地代家賃	26,053,836		
施設運営向上費	797,500		
保険料	214,714		
租税公課	60,180		
支払報酬料	1,186,300		
賞与引当金繰入額	4,300,000		
減価償却費	2,378,788		
繰延資産償却(販)	190,115		
雑費	0		
事業費計			144,808,490

2	管理費		
	(1) 人件費		0
	役員報酬	0	
	役員賞与	0	
	給料手当	0	
	法定福利費	0	
	雑給	0	
	(2) その他経費		0
	退職給付費用	0	
	荷造運賃	0	
	退職給付費用	0	
	採用教育費	0	
	外注費	0	
	荷造運賃	0	
	広告宣伝費	0	
	人材紹介手数料	0	
	接待交際費	0	
	会議費	0	
	旅費交通費	0	
	通信費	0	
	消耗品費	0	
	事務用品費	0	
	修繕費	0	
	水道光熱費	0	
	図書教育費	0	
	諸会費	0	
	支払手数料	0	
	衛生管理費	0	
	研修費	0	
	地代家賃	0	
	施設運営向上費	0	
	保険料	0	
	租税公課	0	
	支払報酬料	0	
	減価償却費	0	
	繰延資産償却	0	
	雑費	0	
	管理費計		0
経 常 費 用 計			144,808,490
当 期 経 常 増 減 額 【A】－【B】・・・①			23,049,799
【C】 経 常 外 収 益			
	固定資産売却益	0	
	過年度損益修正益	0	
経 常 外 収 益 計			0
【D】 経 常 外 費 用			
	支払利息	28,972	
	固定資産除却損	0	
経 常 外 費 用 計			28,972
当 期 経 常 外 増 減 額 【C】－【D】・・・②			△28,972
税 引 前 当 期 活 動 増 減 額 差 額 ①＋②・・・③			23,020,827
	法人税、住民税及び事業税・・・④		10,231,288
	前期繰越正味財産額・・・⑤		21,394,301
	その他の積立金積立額・・・⑥		13,400,000
	人件費積立資産積立額		5,800,000
	修繕積立資産積立額		0
	備品等購入積立資産積立額		0
	保育所施設・設備整備積立資産積立額		7,600,000
次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額 ③－④＋⑤－⑥			20,783,840

令和6年度 活動計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

株式会社 ソレイユの樹

(単位：円)

科 目		金 額	小計・合計
【A】 経 常 収 益			
1 受取会費			0
正会員受取会費		0	
賛助会員受取会費		0	
2 受取寄附金			0
受取寄附金		0	
施設等受入評価益		0	
3 受取助成金等			0
受取補助金		0	
4 事業収益			0
保育事業収入		0	
保護者負担金収入		0	
5 その他の収益			0
受取利息		0	
受取配当金		0	
雑収入		0	
経 常 収 益 計			0
【B】 経 常 費 用			
1 事業費			
(1) 人件費			0
給料手当			
賞与		0	
退職給付費用		0	
法定福利費		0	
福利厚生費		0	
派遣人件費		0	
(2) その他経費			0
給食材料費		0	
保育材料費		0	
児童処遇雑費		0	
保育水道光熱費		0	
施設機能強化費		0	
荷造運賃		0	
広告宣伝費		0	
人材紹介手数料		0	
接待交際費		0	
会議費		0	
旅費交通費		0	
車両費			
通信費		0	
消耗品費		0	
事務用品費		0	
修繕費		0	
水道光熱費		0	
図書教育費		0	
諸会費		0	
支払手数料		0	
衛生管理費		0	
研修費		0	
地代家賃		0	
施設運営向上費		0	
保険料		0	
租税公課		0	
支払報酬料		0	
賞与引当金繰入額			
減価償却費		0	
繰延資産償却(販)		0	
雑費		0	
事業費計			0

2	管理費		
	(1) 人件費		0
	役員報酬	0	
	役員賞与	0	
	給料手当	0	
	法定福利費	0	
	雑給	0	
	(2) その他経費		0
	退職給付費用	0	
	荷造運賃	0	
	退職給付費用	0	
	採用教育費	0	
	外注費	0	
	荷造運賃	0	
	広告宣伝費	0	
	人材紹介手数料	0	
	接待交際費	0	
	会議費	0	
	旅費交通費	0	
	通信費	0	
	消耗品費	0	
	事務用品費	0	
	修繕費	0	
	水道光熱費	0	
	図書教育費	0	
	諸会費	0	
	支払手数料	0	
	衛生管理費	0	
	研修費	0	
	地代家賃	0	
	施設運営向上費	0	
	保険料	0	
	租税公課	0	
	支払報酬料	0	
	減価償却費	0	
	繰延資産償却	0	
	雑費	0	
	管理費計		0
経 常 費 用 計			0
当 期 経 常 増 減 額 【A】－【B】・・・①			0
【C】 経 常 外 収 益			
	固定資産売却益	0	
	過年度損益修正益	0	
経 常 外 収 益 計			0
【D】 経 常 外 費 用			
	支払利息	0	
	固定資産除却損	0	
経 常 外 費 用 計			0
当 期 経 常 外 増 減 額 【C】－【D】・・・②			0
税 引 前 当 期 活 動 増 減 額 差 額 ①＋②・・・③			0
	法人税、住民税及び事業税・・・④		0
	前期繰越正味財産額・・・⑤		25,911,471
	その他の積立金積立額・・・⑥		0
	人件費積立資産積立額		0
	修繕積立資産積立額		0
	備品等購入積立資産積立額		0
	保育所施設・設備整備積立資産積立額		0
次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額 ③－④＋⑤－⑥			25,911,471

令和6年度 計算書類の注記

株式会社 ソレイユの樹

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及び無形固定資産は、定額法で償却をしています。

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金

当法人は、決算日後最初に支給する賞与の支払いに備えるため、当該支給予定額のうち、当年度に帰属する期間に相当する額を賞与引当金として計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	サン・ベビールーム	事業部門計	法人本部	合計
I 経常収益				
1. 受取会費		0		0
2. 受取寄附金		0		0
3. 受取助成金等		0		0
4. 事業収益	158,579,240	158,579,240	0	158,579,240
5. その他収益	9,279,049	9,279,049	0	9,279,049
経常収益計	167,858,289	167,858,289	0	167,858,289
II 経常費用				
(1) 人件費				
給料手当	74,666,513	74,666,513	0	74,666,513
賞与	10,581,427	10,581,427	0	10,581,427
法定福利費	10,577,256	10,577,256	0	10,577,256
福利厚生費	3,123,348	3,123,348	0	3,123,348
人件費計	98,948,544	98,948,544	0	98,948,544
(2) その他経費				
給食材料費	1,657,785	1,657,785	0	1,657,785
保育材料費	544,101	544,101	0	544,101
児童処遇雑費	2,362,965	2,362,965	0	2,362,965
保育水道光熱費	1,145,463	1,145,463	0	1,145,463
施設機能強化費	154,285	154,285	0	154,285
支払手数料	600,098	600,098	0	600,098
地代家賃	26,053,836	26,053,836	0	26,053,836
その他	13,341,413	13,341,413	0	13,341,413
その他経費計	45,859,946	45,859,946	0	45,859,946
経常費用計	144,808,490	144,808,490	0	144,808,490
当期経常増減額	23,049,799	23,049,799	0	23,049,799

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物	0	0	0	0	0	0
附属設備	2,352,442	0	0	2,352,442	538,502	1,813,940
構築物	1,078,446	0	0	1,078,446	368,467	709,979
車両運搬具	0	3,213,000	0	3,213,000	1,606,500	1,606,500
工具器具備品	2,150,955	1,100,000	0	3,250,955	1,717,171	1,533,784
合計	5,581,843	4,313,000	0	9,894,843	4,230,640	5,664,203

4. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金				
日本政策金融公庫	540,000	540,000	540,000	540,000
長期借入金				
日本政策金融公庫	3,420,000		540,000	2,880,000
合計	3,960,000	540,000	1,080,000	3,420,000